



あおいにし



2学期開始号

令和6年8月30日

浜松市立葵西小学校

2学期！自分なりの目標を決めてチャレンジしよう

【2学期始業式の話】

長い夏休みが終わりました。久しぶりに元気よく登校してきた皆さんに会えて、とてもうれしいです。

ところで、校長先生が1学期の終業式に出した宿題を覚えていませんか。当たり前を大切に、『ありがとう』素直に言える人は…カッコいい！』という話をしました。そして、「感謝の気持ちを、ありがとうの言葉で伝えよう。」という宿題を出しました。パリ五輪は多くの日本選手が活躍し盛り上がりました。メダルを勝ち取って喜ぶ選手、思うような成果が残せず悔しがる選手、その結果は様々でしたが、競技後のインタビューでは、やはり、ほとんどの選手が「支えてくれた人たちに感謝を伝えたい…『ありがとう』を伝えたい。」というコメントしていたのが印象的でした。そして、やはり「カッコいいな」と思いました。校長先生も、お店で買い物をしたり、人にお世話になったりしましたが、みんなにお話ししたことを思い出しながら、「ありがとう」と伝えるように心掛けていましたよ。

さて、今日のお話です。みなさんは、電球を発明した人を知っていますか。そう、エジソンという人です。このエジソンは、1300以上の発明をして、発明王と言われている人です。その中でも有名なのが電球です。ただ、意外なことに最初に電球を発明した人はエジソンではありません。実はジョセフ・スワンという人がエジソンより1年前に電球の発明に成功しています。校長先生もスワンという人は知りませんでした。どうして、最初に電球を発明したスワンより、エジソンの方が有名なのでしょうか。それは、スワンの作った電球は短い時間（約40時間程度）しか点灯しませんでした。1日が24時間なので、丸2日つけているとすぐに切れてしまうため、実用的ではなかった…つまりあまり役立たなかったのです。

それに比べて、エジソンの電球は、その25倍の1000時間も点灯し続けることができたのです。エジソンが長い時間点灯する電球を発明したからこそ、世の中に電球が広まったのです。つまり、多くの人が電球を使うことができるようになったのは、エジソンのおかげだということで、エジソンの方が有名になったということです。

では、ここで問題です。エジソンは、電球を長い時間点灯させるために、何回、実験をしたのでしょうか？

- ①10回 ②100回 ③1000回 ④10000回

正解は、100000回（④番）です。実は2万回という説もあるそうです。でも、1万回の実験ってすごいですよね。当時の人もその数の多さにびっくりしたみたいです。インタビューで「1万回、失敗しても実験を続けたことは…」と聞いたとき、エジソンはこう答えたそうです。

「I have not failed. (私は失敗なんかしていない)」

インタビューしていた人は驚いたでしょうね。「いやいや、1万回失敗したって聞いていますけれど…」と、心の中で突っ込んでいたと思います。

エジソンは、話をこう続けたそうです。

「この方法では、電球は光らないという発見を今までに1万回してきたんだよ。」

「それは失敗じゃなくて、その方法ではうまくいかないことが分かったんだから成功なんだよ」

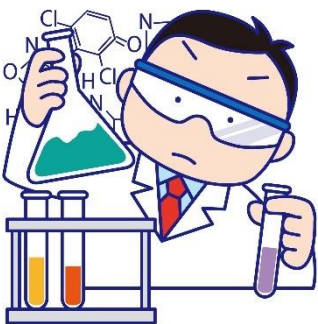
また、次のようなことも言っています。

「私たちの最大の弱点は諦めることにある。成功するのに最も確実な方法は、常にもう一回試してみるものだ」

だから、エジソンはその方法で電灯がつかなくても、そこで諦めずに「もう1回やってみよう！」と実験を続けたんですね。さらにこのようなことも言っています。

「全ての可能性を使い切ってしまったとき、こう思い出すんだ…『いや、まだ使い切っていない』と」

エジソンが、実験を1万回も続けることができた秘密はこの気持ちを持っていたからなのですね。もう無理だと思ったところから、諦めずに



もう1回頑張ることが大切だということです。

今日から2学期が始まります。今、みなさんは、よし頑張ろうという気持ちだと思います。いろいろなことに挑戦しようと張り切っている人も多いと思います。そして自分なりの目標を決めてチャレンジしていくことでしょう。でも、もしかしたら、うまくいかないことがあるかもしれません。諦めそう…くじけそう…になることもあるかもしれません。そんなときに、今日のエジソンの話…「諦めずに、もう1回やってみよう。」を思い出してくれるとうれしいです。

「諦めたら…そこで試合終了ですよ。」これは、漫画スラムダンクの安西先生の有名なセリフです。「継続は力」…継続とは続けること…それが大きな力になる…これは校長先生の好きな言葉です。諦めない限り、次があります。みんなのチャレンジは終わりません。やればできる…みんなの可能性は無限大です。そんなみんなを、2学期も、これからも先生たちは応援していきます。



【学校長 水野希樹】